

雨飾・天狗原山生物群集保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局 中信森林管理署
所在地	長野県北安曇郡小谷村
面積	1,565.06 ha
設定年月日	昭和56年4月1日（平成3年区域拡張、平成8年区域変更）
保護林の概要 （設定目的）	日本海型気候帯に属し、我が国有数の豪雪地帯である雨飾山（1,963m）、天狗原山（2,197m）周辺におけるミヤマナラ、コメツガ、ブナ、オオコメツツジ、ミヤマハンノキ等から構成される植物群落を保護することを目的とする。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和5年度
調査項目	森林詳細調査、高山植生調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（毎木調査・植生調査）を2プロット、高山植生調査を1プロット、森林概況調査として植物相調査・定点写真撮影を実施し、過年度の調査結果と比較した。
結果概要	ブナ、カエデ等を中心とした落葉広葉樹林からオオシラビソ等の亜高山帯針葉樹林、ハイマツ群落や高山植生群落、湿原など多様な植生が確認され、また地域固有性の高い植生が維持されている。 ハイマツの一部に風雪害の被害が確認されたが、保護林全体としては過年度調査と比較して大きな変化は確認されず、健全性は保たれている。 雨飾山は登山者も多く、外来種移入などの植生への影響に注意が必要である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。